

YP-D3

NATURAL SOUND SYSTEM
DIRECT DRIVE PLAYER MODEL YP-D3
GUIDE MANUAL

ヤマハダイレクトドライブステレオレコードプレーヤーシステム
取扱説明書



 **YAMAHA**

■ターンテーブル

モーター……………DC12極24スロットブラッシレス
ホールモーター
ターンテーブル径……………33cmアルミダイキャスト(1.2kg)
外周上面ストロボ付
ドライブ方式……………ダイレクトドライブ
回転数……………33 $\frac{1}{3}$ 、45rpm 2スピード
回転数微調…………… $\pm 3\%$
S/N比……………60dB以上(JIS)
ワウフラッター……………0.04% W.R.M.S以下

■トーンアーム

型式……………S字型スタチックバランス
パイプアーム
全長……………294mm
実効長……………221.6mm
オーバーハング……………16.6mm
針圧表示……………カウンターリングングによる
直読式
カートリッジ重量カバー範囲…4~11g
ヘッドシェル……………アルミライトシェル8g(ネジ、
ナット含む)
リフター……………オイルダンプキューイング
インサイドフォースキャンセラー…スプリング&レバー方式

■カートリッジ

型式……………デュアルマグネット型(M.M)
CG-6600
〔交換針 N-6600〕
出力電圧……………2.2mV(1KHz、50mm/sec)

周波数特性……………10KHz代表点-1dB ± 3 dB
チャンネルセパレーション…28dB以上(1KHz)
演奏針圧……………2.0g ± 0.5 g
針先形状……………0.6mil(接合ダイヤモンド)
重量……………6g ± 0.5 g
負荷抵抗……………47K Ω

■その他

定格電源電圧……………AC100V
定格電源周波数……………50/60Hz
定格消費電力……………3W
外形寸法(W \times H \times D)……………435 \times 122 \times 376(mm)
重量……………8.5kg
外装……………パーティクルソリッドボード、
PVCチムニーオーク化粧
上蓋……………グレースモークサイドゲート
アクリルスチロール材
着脱可フリーストップヒンジ付
フロート方式……………大型特殊ゴムインシュレーター
 $\phi 50$

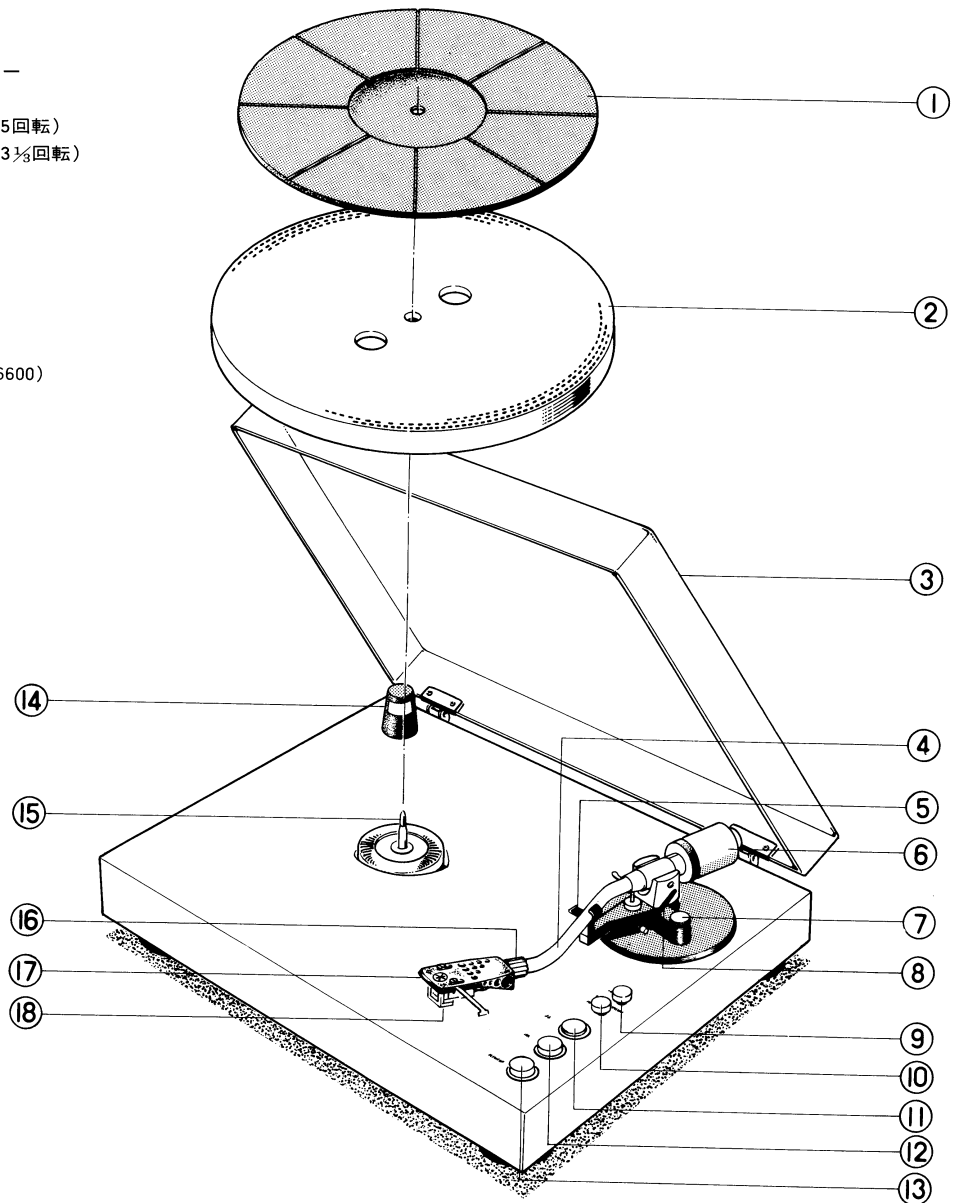
■付属品

45回転レコード用EPアダプター

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

名称

- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ ダストカバー
- ④ トーンアーム
- ⑤ アームレスト
- ⑥ メインウエイト
- ⑦ インサイドフォースキャンセラー
- ⑧ アームリフター
- ⑨ スピードコントロールツマミ(45回転)
- ⑩ スピードコントロールツマミ(33 $\frac{1}{3}$ 回転)
- ⑪ スピード切換ボタン(45回転)
- ⑫ スピード切換ボタン(33 $\frac{1}{3}$ 回転)
- ⑬ POWERスイッチボタン
- ⑭ ストロボ照明ランプ
- ⑮ センターシャフト(モーター)
- ⑯ ヘッドシェルロックナット
- ⑰ ヘッドシェル
- ⑱ カートリッジ(YAMAHA CG-6600)



● ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーY P-D3をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。Y P-D3はダイレクトドライブ方式のターンテーブルと高感度トーンアーム、共振を抑えた堅牢なキャビネットなどで構成され、加えて音質重視のカートリッジを採用し、音質、操作共にすぐれた設計となっております。Y P-D3を永年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますよう、お願いいたします。

● 目次

プレーヤー各部の名称	3
規格・付属品	4
特長・ご使用になる前に	5
プレーヤーの組立	
ターンテーブルの取付け	6
ダストカバーの取付けと取外し	6
トーンアームの組立	6
針圧調整のしかた	7
オーディオアンプへの接続	8
レコード演奏のしかた	9
他のカートリッジを使用するときは	10
針先の寿命と交換のしかた	10
故障と思われる時には	11
サービスのご依頼について	12

● 特長

■ モーター

12極24スロットブラッシュレス DC サーボホールモーターを採用したダイレクトドライブ方式。

低速でターンテーブルを直接駆動する理想的なプレーヤーシステムで、低いワウフラッター、少ないドリフト、高いS/N比、正確な回転数、強い回転トルクなど多くの長所を持っております。

■ アルミダイキャストの大型ターンテーブル

直径33cmの大型ターンテーブルは、ゴムシートと合わせて1.6kgの重量級で慣性モーメントが220kg・cm²と安定した回転を得られます。また回転数のチェックが容易な外周上面ストロボ付です。

■ 高感度トーンアーム

ラテラルバランスを完全に取った高感度S字型アームは強固な亜鉛ダイキャストアームホルダーと共に共振を抑えたダイナミックダンピングシステムを採用、レコードの反

りによる針とびが抑えられてレコード盤トレース能力を向上させ歪みのないすっきりした音を再生します。

■ デュアルマグネット型カートリッジ

ソリッドボード、トーンアームと共に抜けの良いしっかりした低音と明るい音質を再生するデュアルマグネット型カートリッジを標準装備しています。

■ ソリッドボード

40mm厚のソリッドボードキャビネットはアクリルスチロールカバーと共に美しくスリムなデザインとなっており共振に強くハウリングを抑えた設計です。

■ 特殊インシュレーター

50mm径の大型オールゴムインシュレーターは特殊形状により外部からの振動をシャットアウトし、防振特性を向上させ、ハウリングを抑えています。

● ご使用になる前に

● 次のことにご注意ください

■ 電源電圧は定格の100ボルトでご使用ください。

■ 直射日光や火気の強い場所、湿気の多い場所に設置することは避けてください。

■ スピーカーシステムの近くや振動の多い場所に設置することは避けてください。床や台はなるべくしっかりした場所を選んで設置してください。

■ 接続するオーディオアンプと並べて設置する場合は、YP-D3を右側にするようにしてください。カートリッジの近くにアンプの電源トランスが位置すると誘導ハム（雑音）を生ずることがあります。

■ 木製のキャビネットを清掃する場合は、柔らかい布で乾

拭きしてください。シンナー系の溶剤などは使うことを避けてください。

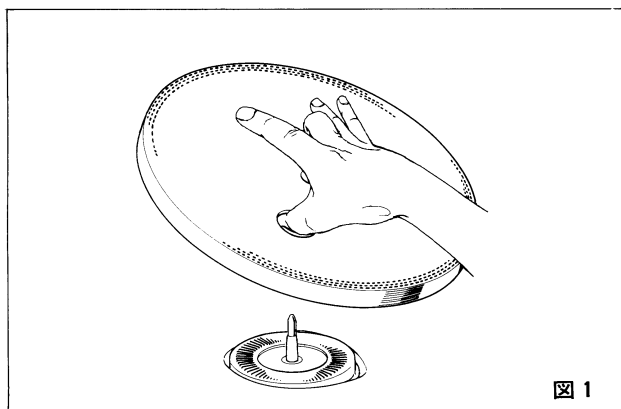
■ ダストカバーを清掃する場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

■ プレーヤーは、水平に設置してご使用くださるようお願いいたします。

■ お買い上げいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、十分ご注意くださいようお願いいたします。

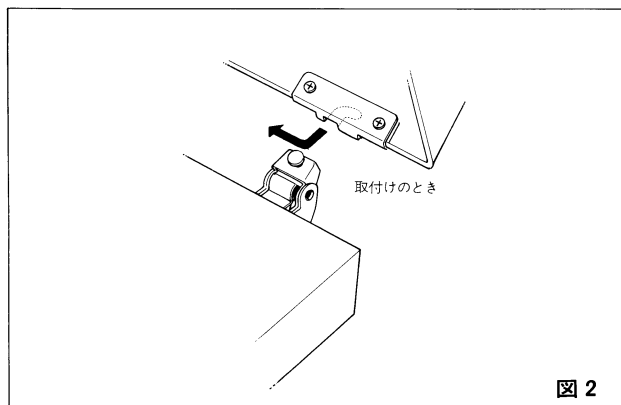
● ターンテーブルの取付け

梱包されているターンテーブルをセンターシャフトに図1の様に持ち差し込みます。静かに取付けてください。(図1) そのあと、ターンテーブルにゴムシートをかぶせます。



● ダストカバーの取付けと取外し

ダストカバーは着脱可能になっていますのでご希望により取外してご使用になることができます。出荷時にダストカバーは本体より取外されて梱包されていますので図2のように突起と溝を合わせて矢印方向に押しながら取付けてください。また、取外すときは取付けるときの逆の操作をすれば簡単に取外しができます。

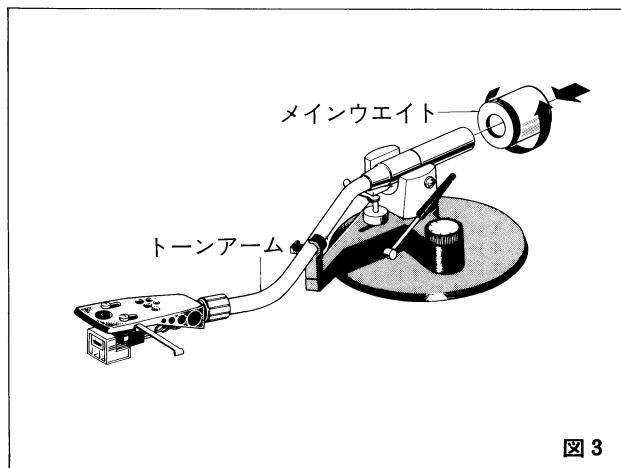


トーンアームの組立て

● トーンアームの組立て

■ メインウェイトの取付

- ① 梱包されているメインウェイトを図3のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。
- ② メインウェイト内部に刻まれた螺旋溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトは、アームを正面からみて反時計方向(左)に回すとトーンアーム基部の方(前)に、時計方向(右)に回すと尾部の方(後)にスムーズに移動するようになります。

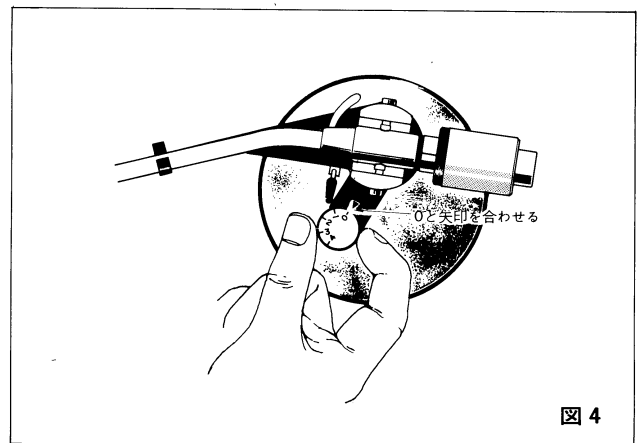


● 針圧調整のしかた

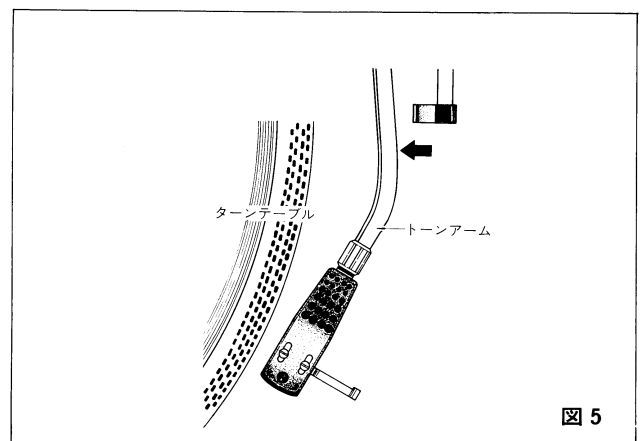
メインウェイトの組立てが終了しましたら次の手順で針圧の調整をしてください。

付属のカートリッジの適正針圧は $2.0\text{g} \pm 0.5\text{g}$ です。

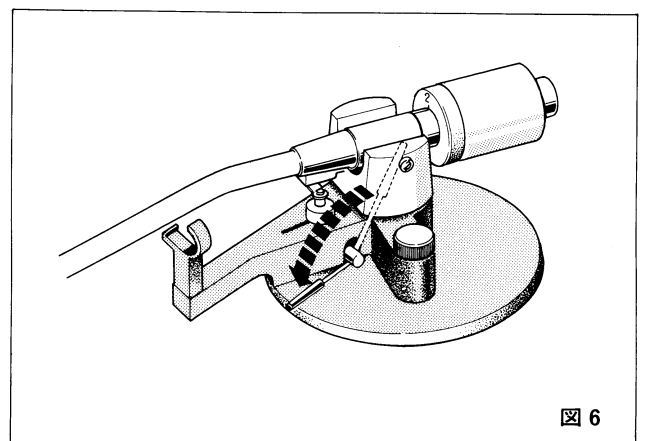
- ① カートリッジの針カバーをはずしてください。
- ② インサイドフォースキャンセラーのダイヤルを“0”にします。(図4)



- ③ トーンアームをアームレストからはずし、ターンテーブルとアームレストとの中間ぐらいまで移動させます。(図5)



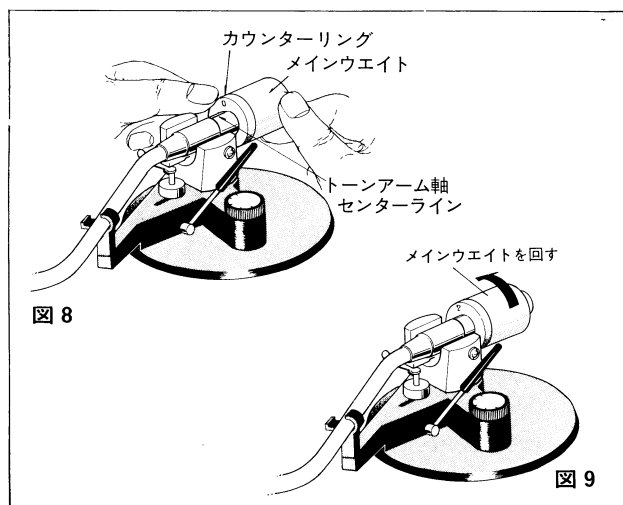
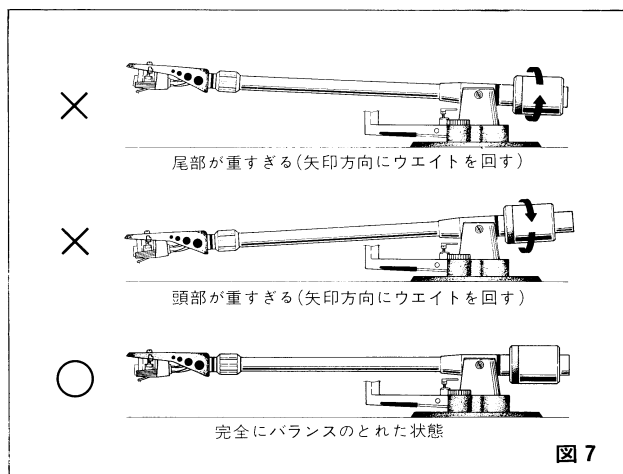
- ④ アームリフターを押し下げますとトーンアームはフリーの状態になります。(図6)



オーディオアンプへの接続

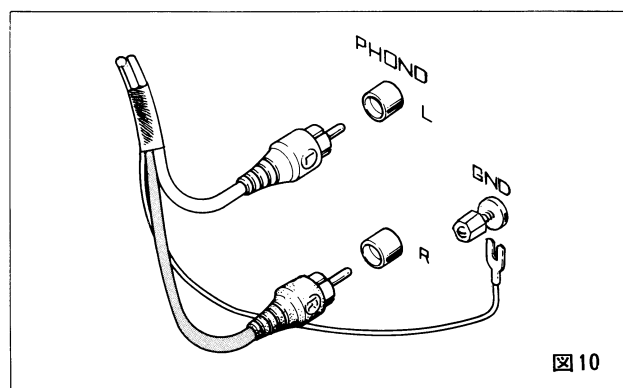
- ⑤ トーンアームが基点を中心に水平バランスがとれるように図7を参考にしてメインウェイトを前後させて調整します。この時メインウェイトはゆっくり回し、バランス具合をみるときはフィンガーから指を軽くはなして見るようにして慎重に調整してください。
- ⑥ バランスがとれた後、トーンアームをアームレストに戻します。
- ⑦ メインウェイトが動かないように、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図8)
- ⑧ メインウェイト後部を回しますとカウンターリングも一緒に回りますので、メインウェイトを正面からみて反時計方向に回して付属カートリッジの適正針圧2.0gに合わせてカウンターリングの数字2.0をトーンアーム軸のセンターラインに一致させます。(図9)
- ⑨ インサイドフォースキャンセラーダイヤルを2.0に合わせます。

以上の操作で正しい針圧がとれたわけですが、カートリッジを交換したり、誤まってメインウェイトを動かした場合は以上の操作をやりなおして針圧をとり直してください。



● オーディオアンプへの接続

- ① キャビネット背面より出ている出力コードのL、Rを間違えないように、アンプのリアパネル面PHONO端子へ接続します。ピンジャックの白がLチャンネル、赤がRチャンネルです。
- ② 出力コードより出ている黒のアース線をアンプのGND端子へ接続します。(場合によっては接続しない方がハムに対してよい結果を得られることがあります)(図10)
- ③ プレーヤーの電源プラグをACコンセントまたはアンプのリアパネル面予備電源コンセントに接続します。



●レコード演奏のしかた

- ① 接続したオーディオアンプのファンクションスイッチを PHONO にします。
- ② 演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードが45回転ドーナツ盤の場合は、EPアダプターをセンターシャフトへセットします。
- ③ POWERスイッチボタンを押しますと電源が入り、ターンテーブルが回転を始めます。(図11)

- ④ スピード切換ボタンをレコードの回転数に合わせます。
(図11)このとき、ターンテーブルのストロボが流れているときは、SPEED CONTROLツマミを回してストロボが止まるように調整してください。ストロボは回転が速すぎる場合は右廻りに、遅すぎる場合は左廻りに流れます。(図12)

※ご使用になる地域の電源周波数によりストロボの縞目は図12のように異なりますのでご注意ください。

- ⑤ カートリッジの針カバーをはずし、ヘッドシェルの指かけを持ってトーンアームをアームレストから外し、レコードの上に持っていきます。
- ⑥ アームリフターを下に倒しますとトーンアームが静かに盤面に下がり、レコード演奏が始まります。(図13)
- ⑦ 演奏終了時、または途中で演奏を中止する場合はアームリフターを上を持ち上げますと、針先がレコード盤面から離れますのでヘッドシェルの指かけを持ってトーンアームをアームレストまで戻してください。次にPOWERスイッチボタンを押し戻しますとモーターが停止します。

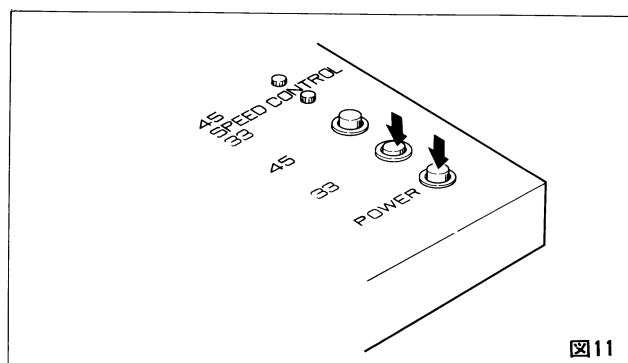


図11

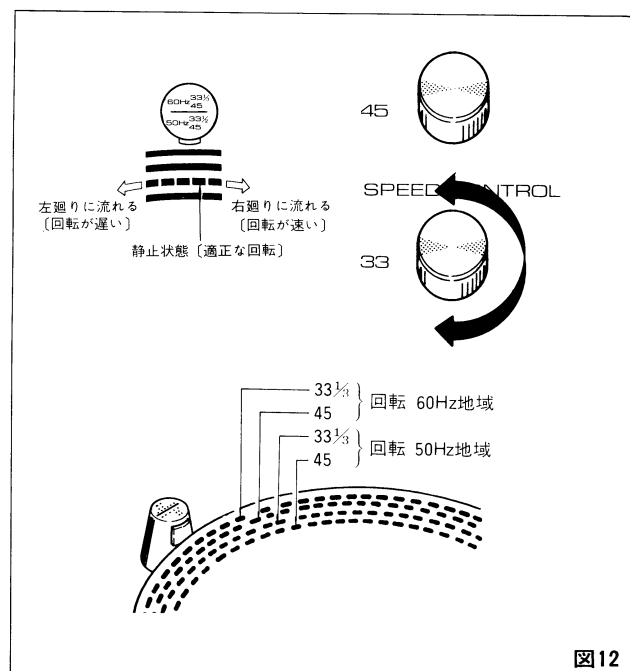


図12

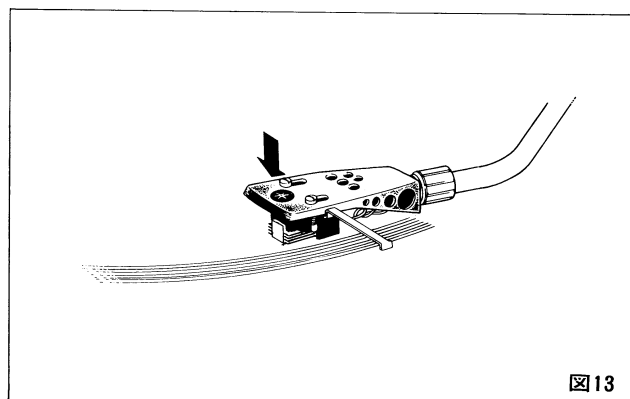


図13

るときは・針先の交換

●他のカートリッジを使用するとき…

■使用できるカートリッジの寸法と自重

YP-D3のヘッドシェルを使用の場合は、カートリッジの高さが21㎜以内のもの(図14)、他のヘッドシェルを使う場合は自重はヘッドシェルとカートリッジを合わせた全重量が12～19gまでのEIA規格のものが使用できます。

注1)交換したカートリッジの針圧調整は針圧の調整の項に従って正しくとります。

注2)付属のヘッドシェル以外のものをお使いになる場合、ダストカバーを閉める際、ダストカバーとヘッドシェルとが当たる場合がありますのでご注意ください。

■ヘッドシェルへの取付け

ヘッドシェル内のリード線は図15のようになっていますのでカートリッジの各ピンに正しく接続してください。

■オーバーハングの寸法

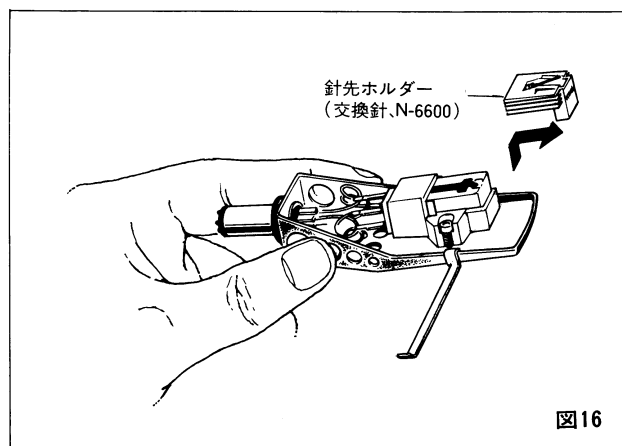
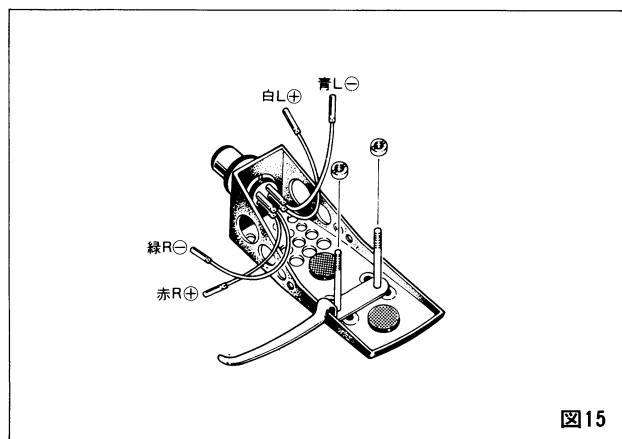
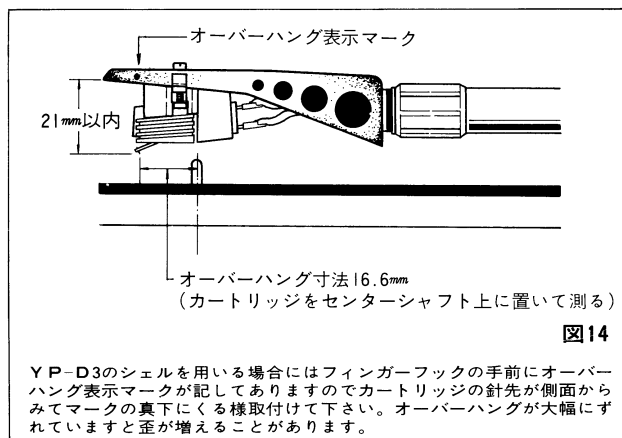
トーンアームのオーバーハングは16.6mmに設計されています。取付穴が長穴になっていますので取付カートリッジの寸法によってオーバーハングが図14のように16.6mmに近くなるように取付けてください。

●針先の寿命と交換のしかた

針先の寿命はご使用になるレコードの状態によって異なりますが、200～300時間が平均です。針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上レコードを傷める原因にもなりますので、早めに交換してください。交換針はYP-D3用(N-6600)をご指定ください。

■針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルを取外します。
- ② 古い針先ホルダーの手前を上側に上げて取外します。(図16)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でさしこみ手前をカチッという手応えのあるまで押し下げます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。



には

本機をご使用中に正常に動作しなくなった時は、次の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは疑

問の点がございましたら、お買上げ店又は日本楽器各支店のオーディオ技術係にサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを押してもターンテーブルが回らない	電源コードがACコンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直してください
ターンテーブルの回転が遅すぎる又は速すぎる	調整ずれ	スピードコントロールツマミとストロボスコープで正しく調整してください
スピードコントロールツマミを調整してもストロボスコープの縞が止まらない	スピードコントロールツマミの誤調整	スピードコントロールツマミの回転数とストロボスコープの周波数と回転数を照合し再び調整してください
	ストロボスコープの見間違い	ご使用になる地域の周波数と回転数を確認し再び調整してください
トーンアームが降りない	アームリフターがUPの位置になっている	レコード演奏のしかたの項を参照し正しく操作してください

針先をレコード面に降ろしても音が出ない	アンプのファンクションがPHONOになっていない	ファンクションを正しくPHONOに合わせてください
	アンプのボリュームが絞られている	ボリュームを適当な位置まであげてください
	プレーヤーの出力コードの接続不良	アンプリアパネルの接続端子を確認してください

再生音が歪んでいて聴きにくい または“チリ、チリ”“パチ、パチ”という音がし、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平な場所に設置してください
	針先にホコリなどが付着している	針先を柔らかいハケなどできれいにしてください
	針先が摩耗している	針先を交換してください
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してください
	針先が軽すぎるか重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直おしてください
再生音がふるえたり、ハウリング（ポワーンという音）を起して聴きにくい	アンプの高音をあげすぎている	高音をFLATポジションに戻してみてください
	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で振動が伝わり共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみてください
レコード演奏のとき“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない プレーヤーの右側にアンプ、レシーバー等の電源トランスが位置している	アース線をアース端子に接続してください (接続しない方がいい場合もある) アンプ、レシーバー等をプレーヤーから離してください

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオ技術係へお願い致します。

■ステレオの保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年で
す。ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切
いたしません。

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもって
サービスを実施致します。尚、補修用性能部品の保有期
間は8年となっております。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がござい
ましたら、まず本文中“故障と思われる時には……”の項
をお読みになってください。意外と故障ではない場合があ
るものです。(ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障で
ない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただきますの
でご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話
番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不
在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知
らせください。(セットの具合をもう少し詳しくおたずねし
たいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更
しなければならないようなときにお客様にご迷惑をおかけ
しないですみます。)

■日本楽器各支店への持ち込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご
自分でお買上げ店、又は最寄りの日本楽器各支店へお持ち
いただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右下欄
のオーディオ技術係又は裏表紙の日本楽器各支店の所在地
と電話番号をご参照ください。)

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできる
だけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番

号などもあわせてお知らせください。(あらかじめ補修部品
などを手配し、早く、確実にサービスにお伺いできます。)

■サービスのお約束

昼間ご不在がちのお客様や留守がちのお客様は、できるだ
けお伺いする日時を事前にお約束させて頂きたく存じます。
万一、お約束した日時にご都合が悪い時には、できるだけ
早くご連絡くださるようお願い致します。(出張料の二重
負担が防止でき、お徳です。)

■各支店住所 (オーディオ技術係)

東京支店・〒101	東京都千代田区外神田3-10-12 TEL (03)255-2241
横浜支店・〒231	横浜市中区本町6-61-1 TEL (045)212-3111
千葉支店・〒280	千葉市千葉港2-1(千葉コミュニティセンター内) TEL (0472)47-6611
関東支店・〒370	高崎市歌川町8番地(高崎センター内) TEL (0273)27-3366
大阪支店・〒564	吹田市新芦屋下1-16 TEL (06)877-5151
神戸支店・〒650	神戸市生田区元町通り1-46(エビスヒラマツビル内) TEL (078)392-1388
四国支店・〒760	高松市西宝町2丁目6-44 TEL (0878)33-2233
名古屋支店・〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052)201-5141
北陸支店・〒921	金沢市泉本町7-7 TEL (0762)43-6111
九州支店・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)472-2151
北海道支店・〒064	札幌市中央区南十条西1丁目(ヤマハセンター内) TEL (011)512-6111
仙台支店・〒980	仙台市一番町2-6-5 TEL (0222)27-8511
広島支店・〒731-01	広島市祇園町西原862 TEL (08287)4-3787
浜松支店・〒430	浜松市幸3丁目5-8 TEL (0534)74-0311

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸支店	〒651・神戸市灘合区浜辺通り6丁目1の36 TEL・078(232)1111
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)3111	四国支店	〒760・高松市西宝町2丁目6-44 TEL・0878(33)2233
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	北陸支店	〒921・金沢市泉本町7-7 TEL・0762(43)6111
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(472)2151
横浜支店	〒220・横浜市中区本町6-61-1 TEL・045(212)3111	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)1201	小倉店	〒802・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
千葉支店	〒280・千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内 TEL・0472(47)6611	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL・011(512)6111
関東支店	〒370・高崎市歌川町8番地/高崎センター内 TEL・0273(27)3366	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心齋橋店	〒542・大阪市南区心齋橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田町1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ シンガポール・フィリピン